

ときわ会 常磐病院では、
地域の医療施設・介護施設との
連携を強化するため、
当院の最新の医療情報を定期的に
お知らせしております。

地 域 連 携 だ よ り

Vol.
36

禁煙外来 再開へ！

～齊藤道也医師へのインタビュー～

ときわ会 常磐病院は、より一層の外科診療拡充を目指しています。
4月より禁煙外来が齊藤道也先生のご協力を得て再開いたしました。
齊藤道也先生へインタビューしてきました。

Introducing a doctor

医師のご紹介

齊藤 道也

SAITOU Michiya

みちや内科・胃腸科 院長
Tobacco-free ふくしま代表
日本禁煙学会専門指導医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会認定指導医
H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医
いわき市医師会副会長
東日本国際大学客員教授



INTERVIEW

インタビュー



当院院長新村と。



禁煙外来プログラム受講者4/1現在810名とホームページで拝見させて頂きました。いつから禁煙外来は取り組んでいらっしゃるのでしょうか。

もう15年になります。当初はニコチン代替療法としてのニコチンパッチが主体でしたが、現在はほとんどの治療が効果の高いバレンクリン作動薬である内服薬に代わっています。この4月1日には福島県においても受動喫煙防止条例が制定されましたので、タバコを取り巻く環境、時代はずいぶん変わったなと感じています。



タバコの煙の危険について伺いたいと思います。喫煙者が吸う(主流煙)煙・喫煙者が吐き出した(呼出煙)煙・タバコから立ち上がる(副流煙)煙とありますが、その危険について教えていただけますでしょうか。

喫煙されている方に、つまり主流煙で健康被害が生じることにに関してはもはや異論はないと思います。現在は受動喫煙の問題点、さらには煙が見えなくとも化学物質が喫煙される方の衣服、部屋に残留することから三次喫煙として、乳幼児からの健康被害、発癌性の危険性が強く指摘されています。



喫煙が及ぼす様々な病気について伺いたいと思います。

ヒトのライフサイクルにおいてあらゆるシーンに悪影響があります。妊娠、出生率の低下、遺伝子変異、小児からの喘息、美容の問題つまり老化の促進、全身の発がん性、心筋梗塞を含む心血管性疾患、脳卒中、認知症、フレイル悪化、ざっと上げるだけでも生まれる前から終末期まで問題があることがわかっています。さらに現在、新型コロナウイルス感染症に感染しやすく、重症化しやすいこともわかっており、他人事ではないと認識いただきたいと思います。



喫煙をされている方は、禁煙したいのに続かないと思っていらっしゃる方も多いと思いますが禁煙を開始するためにはどのような事が大事でしょうか。

まず、ニコチン依存症という病態ですから、本人の意志の強さとは関係ないこと、専門の禁煙医療を受けることでやめられること、自分に禁煙は無理だと思わないこと、これを強調したいと思います。



禁煙外来は保険治療が可能ではありますが、流れについて教えていただけますでしょうか。

専門医とナースと一緒に最後まで並走しながら禁煙を見守ります。まず初回はタバコの問題点の勉強をビデオなどで勉強します。その後12週間で5回の通院が基本ですから、通院間隔は2~4週間毎になり、実はあっという間に卒煙してしまいます。この間の医療費は2万数千円程度ですから、この間のタバコ代と比較してもかなり有益ではないでしょうか。



禁煙外来で重視していることはどのようなことでしょうか。

禁煙するその方のこれまでの生活、これからの目標に向かってパーソナルな向き合い方を意識しています。昨年から禁煙アプリも保険適応となり多くの方に対応が可能になりましたし、もう二度と再喫煙しないためにもフォローアップが大切だと思っています。禁煙するとその周りに笑顔が増えます。決して禁煙は無理ではありません、是非ご相談にいらしてください。



ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いします。

公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明) 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日~金曜日 8:30~17:00

〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地

TEL:0246-43-7399 / FAX:0246-43-7000